

L. ミクリ属の紹介. 山梨植物研究 (11):9-12.
 中田政司・長井真隆, 1998. 富山県産水生植物数種の染色体数. 富山の生物 37:1-6.
 中田政司・長井真隆, 1998. アイノコセンニンモの新産地と染色体数. 富山県中央植物園研究報告 3:53-56.
 中村玲子, 1998. 湿地を楽しむ—中池見湿地. グリーン・パワー 231 (1998年3月号):22-23.
 野崎健太郎・辻 彰洋・神松幸弘・山本敏哉・平澤理世・石川俊之, 1998. 中池見湿地の水生物相と水環境の関係. 日生態誌 48:187-192.
 信澤 守・小野文彦・青井 透, 1998. フロートポンプと水耕栽培ろ過を組み合わせたため池底泥の浄化システム. 環境技術 27:565-570.
 橋本敏子・井澤博文・岡本 拓・水田満里, 1998. 「ポット植栽による水質浄化システム」の開発と県内の当システムを用いた水質浄化の取組み. 環境技術 27:553-559.
 藤本義昭, 1998. 兵庫県のオニバスの思い出. 兵庫の植物 (8):119-122.
 日鷹一雅, 1998. 水田における生物多様性保全と環境修復型農法. 日生態誌 48:167-178.
 平井 屯, 1998. 愛媛県松前町で絶滅したデンジソウ. エヒメアヤマ (愛媛植物研究会誌) (38):41-47.
 富士田裕子・橋ヒサ子, 1998. 元国指定天然記念物静岡湿原の変遷過程と現存植生. 植生学会誌 15:7-17.
 水野重紀, 1998. 絶滅危惧種アサザの保全について (1). 環境 (庄内測量設計舎) (1):7-10.
 三宅慎也, 1998. 植物たちの危機 (19) ホソバヘラオモダカ (シジミヘラオモダカ). 趣味の山野草 19 (8月号):90-91.
 森田弘彦・李 度鎮, 1998. 新帰化植物イケノミズハコベ (新称; アワゴケ科), 山梨県のクレソン水田に出現. 植物研究雑誌 73:48-50.
 山本一潔, 1998. 千種川河口の植生. 兵庫の植物 (8):97-106.
 Aioi, K., T. Komatsu and K. Morita, 1998. The world's longest seagrass, *Zostera caulescens* from northeastern Japan. Aquat. Bot. 61:87-93.

○C.D. Preston and J.M. Croft "Aquatic Plants in Britain and Ireland" (Harley Books, 1997, 365p.)
 自然保護にかかわる3つの機関の共同プロジェクトとしてイギリスとアイルランドの水草の分布, 生育環境, 繁殖様式, 現状などについて集約したもので, 構成は, 科と属の簡単な解説につづいて, 種ごとにさまざまな情報がまとめられている. 形態の記載はほとんどなく, 生態に関する記述が詳しいことが特徴である. 図は一部の種についてしか載っていないが, 全ての種について分布図が掲載されている. これは伝統あるイギリスの植物分布データベースに最近の資料を追加したもので, 10kmメッシュで分布の有無が示されている.

この分布図こそ特記すべきもので, 分布資料の年代によってシンボルが分けられているのである. 1950年以前には記録があるが以後の記録がないもの, 1950~1969年の間に記録があるもの, 1970年以降の記録があるもの, 帰化植物についても1950年以前の記録があるものとそうでないものとに分けられる. これを見れば, それぞれの種の減少と増加の傾向がはっきりとわかり, かつては広い分布域をもっていたにもかかわらず今ではきわめて稀産になっている種などがすぐに拾い出せる.

多くの水草が絶滅の危機に瀕する中で, このような出版物の意識はきわめて大きいと思う. 新しいタイプのフローラとして, 今後, 学ぶべきものが多々ある好著である.

(角野康郎)

○会報63号 (1998年) 訂正

- 32p. 左列4行目と5行目の間に下記の1行を挿入
 「は高原山のほぼ北6kmにある富士山 (1148m)」
 32p. 右列下から14行目
 誤) これらの種子の電顕像による種皮の上側
 正) これらの種子の電顕像により種皮の上側
 34p. 左列7行目
 誤) 福井県 → 正) 福島県
 誤) 野沢陽一 → 正) 湯沢陽一